

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
R206	特別活動の指導法 / 特別活動	2年	講義	2	遠藤忠
授業概要 特別活動は、望ましい集団活動を通して、一人ひとりの児童生徒に「自分らしく自信を持って生きる力(個性と自己実現)」と「人々とともによりよい共同体や社会をつくる力(人間関係形成と社会性)」を育てようとするものである。本授業では、その意義及び内容について理解を深めるとともに、実際的な指導の在り方について検討し実践的な指導力の基礎となる事項を講義する。					
到達目標(学習の成果) 特別活動の意義及び内容について理解を深め、事例を通して多様な指導形態、方法について学習を進め、個性と社会性を備えた望ましい青少年の育成のために、適切な特別活動の実践的指導力の基礎を獲得する。					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	特別活動とは何か	特別活動では何を教えるのか。思い出の中の特別活動。			
2	特別活動の目標と内容	学習指導要領に規定されている特別活動の目標と内容について理解する。			
3	特別活動の意義	特別活動の教育的意義について。特別活動で大切なもの。			
4	特別活動の歴史Ⅰ	明治から昭和初期までの歴史①。学校行事、学校儀式の誕生と変容。			
5	特別活動の歴史Ⅱ	明治から昭和初期までの歴史②。学級会の誕生と発展。			
6	特別活動の歴史Ⅲ	昭和の戦後期から今日まで。特別活動の発展と課題。			
7	特別活動の内容Ⅰ	学級活動① 学級活動の目標と内容。			
8	特別活動の内容Ⅱ	学級活動② 学級活動の指導計画と指導案			
9	特別活動の内容Ⅲ	学級活動③ 学級活動の指導案の基本			
10	特別活動の内容Ⅳ	生徒会活動 生徒会活動の目標と指導上の配慮事項。			
11	特別活動の内容Ⅴ	学校行事① 学校行事の目標と内容			
12	特別活動の内容Ⅵ	学校行事② 指導計画と指導案の作成。			
13	クラブ活動、部活動について	クラブ活動、部活動の意義と指導の在り方。			
14	指導計画の作成	特別活動と学校経営、学年経営、学級経営。			
15	特別活動の課題	特別活動と学級づくり。			

準備学修(授業外の自己学修)

- 1.課された自習課題に取り組み授業に臨むこと。
- 2.授業時に取り上げた専門用語等については、参考書及びその他の専門書を通して理解を深めておくこと。
- 3.授業中に積極的に質問等ができるように準備しておくこと。

成績評価の方法・基準(%表記)

レポート(小レポートを含む) 70%、受講態度 30%で総合的に評価する。

教科書

林尚示編著『教職シリーズ 5 特別活動』培風館、1900 円+税。

参考書等

文部科学省『中学校学習指導要領解説 特別活動編』ぎょうせい、114 円。

履修上の注意・学修支援

毎時の講義テーマを確認し、問題意識を持って受講すること。

質問等訊きたいことがあれば、授業担当まで早めに相談すること(endo@kyowa-u.ac.jp)。